【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公表番号】特表2008-517943(P2008-517943A)
【公表日】平成20年5月29日(2008.5.29)
【年通号数】公開・登録公報2008-021
【出願番号】特願2007-538156(P2007-538156)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/375　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/198　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/4172　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　31/375
Ａ６１Ｋ　31/198
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　17/00
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　29/00　１０１
Ａ６１Ｐ　3/10
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｋ　31/4172
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＨＩＦ－１α遺伝子発現に関連する疾患を治療する組成物を製造するための、ＨＩＦ－

１αの活性および／または発現を阻害できる１つまたは複数の薬剤の使用であって、
前記薬剤が、シスチン、システイン、ヒスチジン、グルタチオン、システイン－ヒスチジン、ヒスチジン－ヒスチジンおよびそれらの誘導体よりなる群から選択される、使用。
【請求項２】
前記ＨＩＦ－１α媒介遺伝子発現が、血管内皮成長因子（ＶＥＧＦ）、グルコーストランスポーターアイソフォーム３（Ｇｌｕｔ－３）、アルドラーゼＡ（ａｌｄｏ　Ａ）およびエリスロポエチンをコードする遺伝子よりなる群から選択される少なくとも１つのさらなる遺伝子の発現阻害を含む請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記薬剤が、細胞におけるＨＩＦ－１αのヒドロキシル化を促進する請求項１に記載の使用。
【請求項４】
前記ヒドロキシル化が、プロリルヒドロキシラーゼまたはアスパラギンヒドロキシラーゼにより媒介される請求項３に記載の使用。
【請求項５】
癌と診断された哺乳動物における癌細胞の増殖を阻害する組成物を製造するための、ＨＩＦ－１αのヒドロキシル化を促進する１つまたは複数の薬剤の使用であって、
前記薬剤が、シスチン、システイン、ヒスチジン、グルタチオン、システイン－ヒスチジン、ヒスチジン－ヒスチジンおよびそれらの誘導体よりなる群から選択される、使用。
【請求項６】
少なくとも１つの追加癌療法をさらに含む請求項５に記載の使用。
【請求項７】
前記追加療法が、化学療法、放射線療法、ホルモン療法および免疫療法よりなる群から選択される請求項６に記載の使用。
【請求項８】
哺乳動物における組織新血管形成を阻害する組成物を製造するための、ＨＩＦ－１αのヒドロキシル化を促進する１つまたは複数の薬剤の使用であって、
前記薬剤が、シスチン、システイン、ヒスチジン、グルタチオン、システイン－ヒスチジン、ヒスチジン－ヒスチジンおよびそれらの誘導体よりなる群から選択される、使用。
【請求項９】
前記組織新血管形成が、癌と関連している請求項８に記載の使用。
【請求項１０】
前記癌が、乳癌、卵巣癌、黒色腫、前立腺癌、大腸癌および肺癌よりなる群から選択される請求項９に記載の使用。
【請求項１１】
少なくとも１つの追加抗新血管形成剤をさらに含む請求項９に記載の使用。
【請求項１２】
前記組織新血管形成が、炎症性病態と関連している請求項８に記載の使用。
【請求項１３】
前記炎症性病態が、皮膚炎、乾癬、関節炎よりなる群から選択される請求項１２に記載の使用。
【請求項１４】
前記関節炎が、リウマチ様関節炎である請求項１３に記載の使用。
【請求項１５】
少なくとも１つの追加抗炎症剤をさらに含む請求項１２に記載の使用。
【請求項１６】
前記組織新血管形成が、視力喪失と関連している請求項８に記載の使用。
【請求項１７】
前記視力喪失が、網膜新血管形成により引き起こされる請求項１６に記載の使用。
【請求項１８】

前記網膜新血管形成が、糖尿病性網膜症、黄斑変性または鎌状赤血球網膜症により引き起こされる請求項１７に記載の使用。
【請求項１９】
前記黄斑変性が、湿性型である請求項１８に記載の使用。
【請求項２０】
前記黄斑変性が、乾性型である請求項１８に記載の使用。
【請求項２１】
哺乳動物におけるＶＥＧＦの増加レベルと関連している哺乳動物における組織新血管形成を阻害する組成物を製造するための、ＨＩＦ－１αのヒドロキシル化を促進する１つまたは複数の薬剤の使用であって、
前記薬剤が、シスチン、システイン、ヒスチジン、グルタチオン、システイン－ヒスチジン、ヒスチジン－ヒスチジンおよびそれらの誘導体よりなる群から選択される、使用。
【請求項２２】
少なくとも１つの追加抗ＶＥＧＦ剤をさらに含む請求項２１に記載の使用。